

第32週の発生動向(2005/8/8~2005/8/14)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 手足口病は、五所川原保健所管内、上十三保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
3. 伝染性紅斑は、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
4. ヘルパンギーナは、八戸保健所管内を除くすべての保健所管内で**警報**が出されています。

第32週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	14	1.75	1	0.10	2	0.22	2	0.40	7	1.17	1	0.25	27	0.64	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	5	0.50	3	0.33			1	0.17	2	0.50	15	0.36	-1
(62) 感染性胃腸炎	18	2.25	6	0.60	4	0.44			10	1.67	8	2.00	46	1.10	11
(63) 水痘	10	1.25	3	0.30	8	0.89	6	1.20	10	1.67	3	0.75	40	0.95	6
(64) 手足口病	21	2.63	7	0.70	25	2.78	11	2.20	31	5.17	5	1.25	100	2.38	-23
(65) 伝染性紅斑	2	0.25	6	0.60	2	0.22			9	1.50	6	1.50	25	0.60	-15
(66) 突発性発しん	4	0.50	8	0.80	6	0.67	3	0.60	6	1.00	3	0.75	30	0.71	-1
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															0
(69) ヘルパンギーナ	80	10.00	28	2.80	17	1.89	17	3.40	42	7.00	25	6.25	209	4.98	-21
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	5	0.63	2	0.20	10	1.11	2	0.40	11	1.83	1	0.25	31	0.74	16
(73) 急性出血性結膜炎	1	0.50											1	0.09	1
(74) 流行性角結膜炎	6	3.00	1	0.33	2	1.00	1	1.00	4	2.00			14	1.27	7

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

は警報 は注意報 「空欄」: 患者発生数0

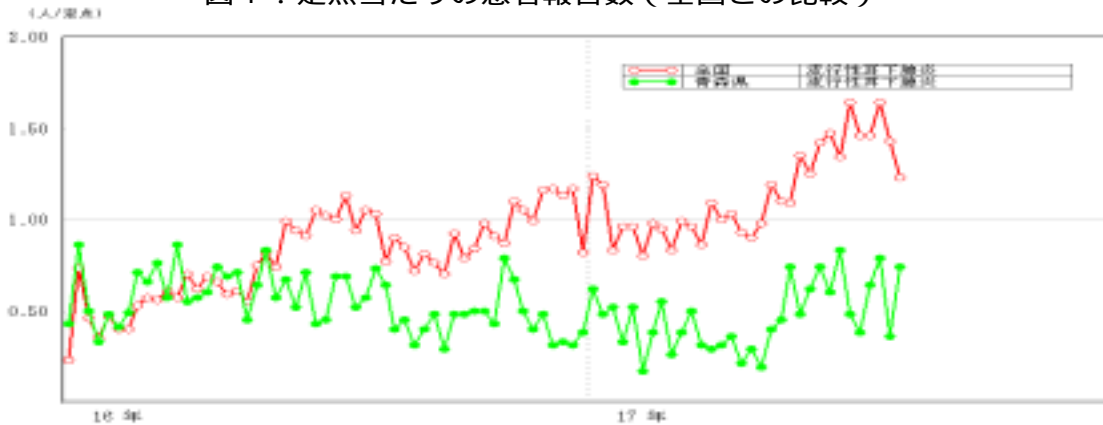
表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 7人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 4人 (17年計 85人)

感染症の窓

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

図1. 定点当たりの患者報告数(全国との比較)



全国における定点当たりの患者数は、昨年度をかなり上回った報告が続いており、夏季に入ってから、さらに増加しています。青森県では、昨年度と同様に推移していますが(図1)、今後の動向に注意が必要です。

流行性耳下腺炎は2~7歳の児を中心とした小児に好発する、ムンプスウイルスによる感染症です。予後は良好ですが、無菌性髄膜炎、難聴、睾丸炎、卵巣炎などの合併症を起こす場合があります。感染経路は飛沫感染、接触感染です。予防対策としてワクチン接種が唯一の方法です。

